

マーケットの動き（2024年5月7日～5月10日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。米国雇用統計の下振れなどを背景に米国金利が低下したことを受け、週初は国内金利も低下しました。その後、4月の日銀金融政策決定会合に対する主な意見などを踏まえ、日銀が早期追加利上げや国債買い入れの減額に踏み切るとの思惑が高まったことなどを受け、国内金利は上昇しました。クレジット市場は、引き続き堅調に推移しました。

投資環境見通し（2024年5月）

国内長期金利はレンジ内での動き

日銀は4月の金融政策決定会合において、前回会合で決定した方針の継続を決定しました。同総裁は緩和的な金融環境の継続を強調し、一部に予想された国債の買い入れオペの減額については見送られました。引き続き、年内にあと1回の利上げが行われるとみられる中、国内長期金利は当面の景気および物価動向と金融政策への影響を見極めつつ、レンジ内で推移するとみています。

	5月10日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.91	0.02	0.12	0.06	0.50
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	361.14	▲0.10%	▲0.95%	▲0.46%	▲3.70%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202405_outlook.pdf

日本国債利回りの推移

（期間：2023年4月28日～2024年5月10日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2023年4月28日～2024年5月10日）



※2023年4月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>